

第11回

桃花台音楽まつり



プログラム

- モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク
- エルガー：愛の挨拶
- バッハ：G線上のアリア
- サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン
- ヴィバルディ：四季より「春」
- ブラームス：ハンガリー舞曲第5番
- スクリーンミュージック ジブリミュージック
- 葉加瀬太郎：情熱大陸 他



2026.11.15 SUN 開演14:00 開場13:00

小牧市東部市民センター講堂

入場料：500円(高校生以下無料)先着順・整理券なし

演奏者の紹介

古井 麻美子 ヴァイオリン

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。チェコ国立プラハ芸術アカデミー研究科修了。第46回全日本学生音楽コンクール名古屋大会高校の部第1位。豊田文化奨励賞、名古屋市民芸術祭特別賞、名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。NHK-FM、NHK-BS などに出演。これまで大阪シンフォニカー交響楽団(現 大阪交響楽団)、中部フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを歴任。現在は中部フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリン奏者としての活動の傍ら、名古屋音楽大学、同朋高等学校音楽科および金城学院大学非常勤講師。日本弦楽指導者協会会員。



小笠原 優子 ヴァイオリン

相愛大学音楽学部専攻科修了後、渡欧。プラハ芸術大学元学長イヴァン・シュトラウス教授のもとで2年間研鑽を積む。その後札幌交響楽団1st.ヴァイオリン奏者として在籍。霧島国際音楽祭にてザハール・ブロン・マスタークラスを受講。これまでに吉川朝子、松本光世、小栗まち絵、クシシュトフヤコヴィチ、故・工藤千尋、岸邊百百雄の各氏に師事。現在はソロ、室内楽、オーケストラ客演奏者として、東海・北陸・関西地方のコンサートに多数出演している。



大竹 温子 ヴィオラ

名古屋芸術大学音楽学部演奏学科ヴァイオリン専攻卒業、同大学の研究科をヴィオラ専攻にて修了。国際教育助成事業のオーディションにて優秀賞を受賞、選拔されロシア国立モスクワ音楽院の全学費免除推薦を受け、同マスタークラスにてディプロマを取得。ヴァイオリンを日比浩一に、ヴィオラをY.Tkanov、石橋直子、鈴木学の各師に師事。セシリア国際音楽コンクール室内楽部門第3位。大阪国際音楽コンクール室内楽部門エスポワール賞。



波多 和馬 チェロ

香川県出身。香川県立坂出高等学校音楽科、愛知県立芸術大学を経て、同大学大学院博士前期課程修了。2019年、第1回P-NEXTチェロコンクール(豊田市)にて優秀賞を受賞。これまでにチェロを、竹縄歌織、天野武子、花崎薫の各氏に師事。現在、東海地方や出身の香川県を拠点に、室内楽やオーケストラのエキストラ奏者として活動している。



中部フィルハーモニー交響楽団プロフィール

2000年小牧市交響楽団として設立。2007年中部フィルハーモニー交響楽団に改称。設立当初より故秋山和慶氏(2025年1月逝去)の指導の下で成長し、小牧市を拠点に「地域に根差したトップクラスのオーケストラ」をスローガンに、主に中部圏で精力的に演奏活動を行っている。古典から近代までの幅広いレパートリーと、アンサンブル技術で高い評価を得ている。2009年愛知県芸術文化選奨新人賞を受賞。2024年、日本オーケストラ連盟の正会員に昇格。2026年度より藤岡幸夫を芸術顧問に迎え新たな四半世紀の成長に挑む。また、飯森範親が首席客演指揮者を務める。

◆東部市民センターにおける演奏会の予定

◇2027/3中旬 第12回桃花台音楽まつり 前田陽一朗 お薦めのピアノ名曲ベスト10

◇2027/11中旬 第13回桃花台音楽まつり 大倉尚士 JAZZピアノクアルテット